



美しい景色 地域の宝

宮城・松島町長 桜井さんに聞く



桜井町長に取材する飯島さん(奥)、田多野さん(手前)

地元・宮城県松島町を知るため、松島五小5年の飯島燈矢さん(10)と田多野莉乃さん(10)は、桜井公一町長(73)に、町の良さや課題を聞きま

した。
 (1面に関連記事)
 松島の魅力を質問すると、桜井町長は「景色です」と即答しました。「海があつて山もある。小高い山から松島湾を眺めると、本当に美しいと

感じます」

松島は日本三景の一つとして有名で「世界で最も美しい湾クラブ」(本部フランス)にも加盟しています。

新型コロナウイルスの影響で、2020〜22

年は観光客が激減しましたが、今年の春の大型連休中は約15万人が訪れたそうです。

田多野さんが、町の活性化対策について聞く

「日本三景の日(21日)やお盆には大型イベントが企画されています。観光客を取り戻し、交流人口をさらに増やしたい」と強調しました。

2020年の調査では、15歳未満の人口が約1200人で1995年の半分以下に落ち込んでいます。2人が「これからどんな町にしたいですか」と尋ねると「松島で子どもを育てたいと思う人を増やしたい」と桜井町長。「町内には働く場所が少ない。企業が進出できるように環境を整備して、誘致を頑張りたい」と説明しました。

取材を終えて

町長になってみたい 飯島 燈矢さん

町長と直接話したことがなかったのとて



も貴重な経験でした。町民が暮らしやすくなるようにお金の使い道を考え、実行することが町長の仕事だそうです。五大堂を含めた松島の景色を守るためにも、町長になってみたいと思いました。

松と海の絶景誇り 田多野莉乃さん

五大堂は、垂木などの飾りや干支の彫刻が美



しく、偉人たちも同じ景色を見ていたと思うと感動します。町はイベントを開いて松島をPRしたり、風景を守るために景観条例を作ったりしています。松と海が生み出す絶景を誇りに思います。

子どもたちの学力向上に!

河北新報の 出前授業

活用しませんか

教育に新聞を活用するNIE活動に取り組む学校が、年々増えています。新聞は子どもたちの学力向上、読解力アップにつながります。河北新報社は、新聞活用を後押しするため、社員による出前授業を行っています。



出前授業 主なメニュー

新聞の読み方 (小学校高学年以上) **楽しく実践**
 新聞を5分で読む方法、インターネットとの違いなどを説明。新聞を読み比べ、多様な考えがあることも学べます。

文章の書き方 (中学生以上) **楽しく実践**
 新聞記事は分かりやすい文章のお手本。記事の書き方の基本を学ぶことは、伝わりやすいレポートやビジネス文書作成に役立ちます。

まわしよみ新聞 (全世代向け) **楽しく実践**
 気になった記事を切り抜いて紙に貼り、選んだ理由を発表します。多様な視点や考えがあることを学べます。

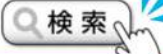
報道写真の役割 (全世代向け) **震災学ぼう**
 写真専門記者が震災現場などの写真を素材に、報道写真の役割を説明。効果的な写真の撮り方も学べます。

新聞の作り方 (小学校高学年以上) **楽しく実践**
 修学旅行新聞や学級新聞の作り方を説明。取材方法、記事の書き方、効果的なレイアウトを紹介しします。

防災ノウハウ (全世代向け) **震災学ぼう**
 地域巡回防災ワークショップ「むすび塾」担当記者が、地域の防災力を高めるノウハウを紹介しします。

※上記は出前授業の一例です。内容はご相談ください。

河北新報 出前授業



お問い合わせ先: 河北新報社 防災・教育室 | TEL:022-211-1309 FAX:022-211-1339
 E-mail:kyopro@po.kahoku.co.jp

出前授業メニュー一覧は webでご覧いただけます

